



若宮神社の大祭で奉納相撲 若葉保育園児「わたし 負けないわよ!!」(10月9日)
行司は吉永正巳さん

あなたと議会を結ぶ情報ネットワーク

あおぞら21

検診率アップで健康いきいき御船町	2
随意契約の見直しを（一般質問）	6
環境対策にも配慮（現地視察）	9
どう活かすまちづくり（議員研修）	11



検診率アップで

9月会議を9月13日から21日まで開きました。23年度の一般会計歳入歳出決算と7特別会計歳入歳出決算と水道事業会計歳入歳出決算の決算認定のほか、専決処分の報告、益城町および御船町中小学校組合の解散、24年度一般会計補正予算、特別会計補正予算などを審議し、すべて全会一致で可決・承認しました。

また、監査委員から23年度一般会計・特別会計歳入歳出決算や財政健全化比率審査に対する意見書が出されました。

町政に対する一般質問に3人が登壇しました。

主な質疑

歳入

不納欠損の理由は

沖議員 町民税などの収入が低下しているが不能欠損金は415万円増加をしている。5年滞納なら欠損とするのか。徴収に甘えはないか。

大型店が進出をしているが税の収入はあっているか。

藤本税務課長 不納欠損の大きな理由は死亡と行方不明者です。滞納者に対する督促や家宅搜索、動産の差し押さえなど行っています。徴収に甘えはありません。

23年度法人税として6店舗で約285万円入っています。

沖議員 3人以上の事業所に対する町県民税の給与天引きによる特別徴

収があっている。何割の事業者が応じているか。事業者の都合で納入されないのはおかしい。徴収員は足りているか。

藤本課長 9割程度特別徴収に協力していただいています。納入がない場合事業者に督促をしています。税務課員が増えれば細やかな対策ができます。

田上議員 小中学校の日本スポーツ保険負担金は保護者の負担もあるか。

米満学校教育課長 保護者の負担があります。

歳出

選挙の時間外手当

塚本議員 選挙時の時間外手当400万円の内訳を。

野口総務課長 期日前投票に16人と投票日当日の投開票に160人です。延べ1,800時間となります。

委託料の内訳は

福永議員 町づくりコンサルティング委託料はどういう仕事をしてどのような成果が上がっているか。

吉本企画財政課長 都市環境研究所に委託しました。まちづくり交付金事業が主体です。ソフト施策へのアドバイスなどを行っています。

田端議員 自治基本条例制定委託料の委託先はどこか。内容と金額はあっているか。マニフェストとは別か。



完成したシンボルロード 歩道の清掃作業をする御船中学生（10月19日）

健康いきいき御船町

野口課長 委託先はローカルマニフェストネットワーク九州の神吉信之氏。年に22回来て頂きました。マニフェストも含んでいます。

田端議員 用地先行取得で繰り出し金が出ているが、どこに出しているか。今後の用地先行取得はどうするか。

野口課長 JAの跡地を買いました。24年度が用地先行取得会計の最終年度となります。今後は、明確な用地の取得目的が必要となります。

福永議員 高速道路を通行する機会が多いが、ETCを付けている公用車は何台あるか。

野口課長 主に研修や出張に使う車4台に取り付けています。他の車は主に町内巡回に使用しています。

田中議員 一人親家庭の医療費補助の条件は。

藤井福祉課長 母子・父子家庭です。

田上議員 社会福祉協議会への補助1,300万円の用途は。

藤井課長 8割が人件費です。

受診率向上の取り組みは

沖議員 結核検診の町内箇所数は減ったのか。車に乗れない高齢者などの受診率の低下になりはしないか。



検診を受け、いつまでも健康でいきいきした生活を送りましょう。



マニフェスト意見交換会（9月26日）

広報はどうしているか。

道山健康いきいき推進課長 利用の実績と駐車場がある場所に変えました。事前に区長に連絡はしていません。

吉村議員 みふね検診で「検診者が少ないので受けて」と区長から言われた。車で送迎などあれば受診率が上がるのではないか。

道山課長 未受診者には個別に対応をしてきました。健康づくり推進員や区長に呼びかけを依頼しました。今後は受診率向上のため、いくつも案がでていきますので検討していきます。

山本町長 受診率を上げるためワークショップで検討しています。なぜ受診しないのか。なぜ検診が必要か。自分のためになることの自覚を求めています。

井本議員 検診箇所が変わったことで受診率が上がったのか。

道山課長 七滝の3箇所を1箇所にしましたが受診率は変わっていません。山間部は平坦部より受診率は高くなっています。

マナーの向上を

田中議員 犬の予防接種の頭数は。犬の散歩で糞の始末をされない方がある。対策は。

山本みず環境課長 全体で1,047頭接種しています。

山本町長 犬の散歩中の糞の処理などマナーを守るべき。景観条例など町の全体を網羅したものを検討します。

光ファイバーの有効活用を

永山議員 インターネット活用講習委託料を出しているが、受講者の年齢層や人数、講習回数などは。

講習が十分活かされているか。

藤岡経済振興課長 認定農業者と4Hクラブを対象としました。初心者コース13人は2時間の15回。活用コース4人は2時間の10回。勉強になったが活用までに至っていません。

山本町長 光ファイバーの有効活用のひとつです。基本的なことは身についたと思います。個人のホームページの開設に向けた取り組みを今後展開したいと考えています。

沖議員 環境保全型農業直接支払いはどういうものか。

藤岡課長 有機肥料を使い化学肥料を5割削減したところを対象に、農業者の申請で支援しました。

公園清掃管理は誰が

清水議員 公園清掃管理委託料はどこの公園か。

藤岡経済振興課長 城山公園の斜面を森林組合に委託してあります。

清水議員 公園の中はしないのか。

藤岡課長 公園の中は職員で対応したりシルバー人材センターにお願いしています。

清水議員 どこの公園も草が茂っている。前は綺麗にしてあった。今は昔の見る影もない。中の方も森林組合に草刈りをしてもらったかどうか。

藤岡課長 若宮公園、滝川みんなの広場、城山公園、ご指摘のとおり草が茂っている。これについては対応したいと思っています。

池田議員 城山公園の、のり面は県の管理ではないか。どのようになっているのか。

藤岡課長 シンボルロード線側ののり面と小学校側ののり面があります。その箇所の草刈をお願いしました。

池田議員 中央線側ののり面の岩が崩落しそうになっていることは把握しているか。

松岡建設課長 中央線側ののり面は県が補修工事しています。その中で現況としてはキレツが入って危険な状況である事は確認しています。現在、県と協議しながら今後の対応をします。



御船川でカヌー体験 かわまちづくりに期待が高まる

危ない七滝遊歩道手摺

井本議員 今年の大雨で木が倒れ手すりが破損している。修理を考えているか。

藤岡課長 現場を確認し検討したいと考えます。予算化はしていません。

井本議員 町がお金を出して設置している。補修費は町が出すことになっても維持管理の基本は七滝観光協会がしていくことを明確にお願いしたい。

変更計画したかわまちづくり

沖議員 どのような変更をしたのか。

藤岡課長 平成22年にかわまちづくりの計画書ができています。国の観光関係の事業も良かったが、平成22年末に河川の治水に対する事業になり当初計画していたことを変更せざるえないことになりました。計画変更の策定委託をしました。

山本町長 観光的なものは事業の採択基準にならないと国交省から話がありました。観光的なことは町にお願いします。と通達がありました。

少ない補助金

田中議員 緑川漁協への補助金の額はこれで大丈夫かなと思う。かわまちづくりとつなげた部分の中で町長の考えは。

山本町長 御船川は上流にダムも無く清流といわれています。緑川水系ということで、最近は御船川に釣り人が多いと感じています。先日緑川漁協の役員さんがこられて現状報告がありました。概算でいうと稚魚の放流に1千万円ほどかかっています。稚魚の半分は御船川に放流されています。

若宮～お祭り広場～滝川みんなの広場まで、生態系を含めて確認し内部検討中です。

町が管理除草している箇所は

福永議員 町道は130キロあると思う。住民地域が管理除草している道路また町がこのようなお金を賭けて除草している道路があるが町が管理除草している道路はどの箇所か。

松岡課長 通常、町道維持管理は年間、嘱託区が区役などで区域内の管理除草されています。町道吉無田線や下高野・甘木線、などは距離が長



桜満開の城山公園 きれいに刈られた芝生の上で花見を楽しむことができる。

くて規模が大きかったり区域から離れている町道については、町のシルバー人材センターを中心に除草、側溝の清掃のお願いをしています。

美味しく安全な学校給食

藤川議員 御船小の学校給食運搬の入札はどのようにしたか。

米満学校教育課長 見積り入札をしました。熊本県下調べたところ2社運搬業務に携わっています。2社による競争入札をしました。

目に見えない箇所を

永山議員 まちなかギャラリーや、

八勢橋など見れば目に見えるところは重要文化財であっても近代の舗装をしている。現在、まちなかギャラリーを改造されているが、壁は竹を入れ縄で編んで仕上げて行くとのことだが、その過程は壁を塗ってしまうと見えなくなってしまう。目に見えない工程を写真などでディスプレイしてはどうか。

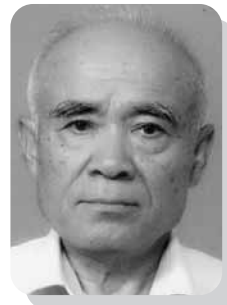
宮崎社会教育課長 八勢目鏡橋は県指定の重要文化財であるので来年度に補助申請を行う予定です。補助を受けられたら予算計上したいと思います。

人権擁護委員を承認

4期目

井口 誠一 氏

豊 秋



袴野小中学校組合の解散

益城町及び御船町中小学校組合の解散

平成22年より行われてきた地区懇談会を経て、平成23年1月23日付で益城町町長文書が送られました。そして平成24年8月8日に解散に向けた設立委員会がスタートしました。

9月には組合議会で同文議決がされ、閉校に向けた準備が進められてきました。

益城町及び御船町中小学校組合の解散に伴う財産処分

益城町及び御船町中小学校組合の解散に伴う財産処分と負担割合について説明が行われました。

光ケーブル損害賠償の訴え提起

平成23年6月28日に町道吉無田線において、水源区テレビ共同受信施

設組合のケーブルを切断したとして、重機の所有者である会社に対し、町とテレビ受信組合が合同で損害賠償の請求を提起しました。



町道吉無田線 小屋手前の電線を大型クレーンが切断したとされる

平成24年度 補正予算を可決

議案・承認事項	議事内容
御船町一般会計	歳入歳出に2億118万円を追加し、予算の総額を66億4,493万円としました。
御船町国民健康保険事業特別会計	歳入歳出に286万円追加して、予算の総額を25億3,549万円としました。
御船町介護保険事業特別会計	歳入歳出に1,493万円追加して、予算の総額を16億2,545万円としました。
御船町公共下水道事業特別会計	歳入歳出に806万円追加して、予算の総額を4億6,674万円としました。
御船町情報通信基盤施設運営事業特別会計	歳入歳出に507万円追加して、予算の総額を5,287万円としました。
御船町水道事業会計	資本的支出1億9,352万円に対して、老朽管の布設工事及び配水池造成工事などへの補正を1,625万円組み、支出合計を2億9,977万円としました。



Q 随意契約の見直しは A 公表する方向で検討する

池田 浩二 議員

池田議員 国土交通省・熊本県では、入札契約制度の参加資格は、自己資本金、完成工事高、技術者の数、技術点、経営規模等評価通知書の点数等で決めているが、御船町の入札契約制度はどういう規約、基準で審査しているのか。審査結果のランク等は建設新聞、インターネット等で情報公開されているが、御船町は情報公開をどう考えているか。

池田議員 資格審査というのは、県が実施している経営事項審査と思うが、町独自の評価点は作っていないか。
野口課長 現在、町独自の評点は作っていない。

池田議員 情報公開について、20年度ぐらいまで情報公開コーナーで公表していたと思う。国、県は会社へランク等の通達をやっているが、町はなぜ通達しないのか。

かりやすく、どうなっているか。130万円以下の工事に関して、A・Bクラスの随意契約の対象外と聞いているが。

野口課長 今までのやり方の中では、Cクラスが、基準の金額に該当します。

池田議員 7、8年前から随意契約は、Cクラスと聞いていたので、先日確認したところ基準は変わっていないと聞いているが。

野口課長 前例のとおりやっているもので、競争性、公平性に欠ける考えもあるので町長と協議して検討したいと思う。

池田議員 高速道路の残土の敷均も、Aクラスと思うが。

松岡建設課長 随意契約でAクラスと契約している。

池田議員 これは基準、ルール違反ですね、総務課長。

山本町長 内容によってはそれ以外のこともあり得る、だから随契です。最終的にはいろんな条件の中で担当の聞き取りをして決める。

池田議員 緊急性、地域的なこともある。今後随意契約の見直しを強く要請する。



入札結果は情報公開コーナーで見ることができる。

山本町長 契約の締結については、地方自治法第234条第1項の規定に基づき、売買、賃借、請負、その他の契約は一般競争入札、指名競争入札、随意契約または競り売りの方法により締結するものと定められている。

池田議員 ランク、クラスの決め方はどういう基準で決められているか。

野口総務課長 地方自治法にのっとっておこなっている。技術者の名簿経歴、財務諸表、業態の調書、等提出いただいて審査を行う。資格検査を原則的に年1回行うということで資格審査通知書を年度末に受け付け、総合評価によってランク付を行っている。

野口課長 今後は、ランクに関しては、検討して公表する方向で考えたい。

池田議員 随意契約の契約基準をわ



今年度ふれあい広場の工事の入札が行なわれる予定

Q バス営業所廃止で危険！不便！

A 運行ルート変更計画もあり対応が遅れた

福永 啓 議員



いじめ問題

福永議員 熊本県のいじめ認知件数は、統計上他県に比べ突出しているが、いじめの定義を考えれば、認知件数は決して多いものではなく、認知件数を減らすことを目標とするべきではない。いじめを認知したということは、先生や学校が児童生徒としっかり向き合っていたということでもあり、逆に評価すべき。

増永教育長 私もそういうふうに認識している。いじめは人として絶対に許されない行為であり、どの学校でも、誰にでも起こりうるものである。いじめ問題の解決には、早期発見と早期対策が重要である。いじめの認知件数増加が、先生や学校へのマイナス評価となることは無い。

福永議員 御船中ではスクールカウンセラーの勤務は週に1日、スクールソーシャルワーカーは上益城振興局に一人という体制になっている。増員に積極的に取り組んでほしい。

増永教育長 教育現場からの要望もあり、県に増員をお願いしている。

福永議員 多様ないじめ問題に対処するためにも、小中学校間や社会教育との連携が必要。また、いじめによる自殺など、最悪の事態は絶対に避けなければならない。命に関する教育の充実も必要。このような問題に学校が対処するためにも、町基本計画にも盛り込まれ、校長が独自の判断で使える予算が必要ではないか。

増永教育長 今までも、いじめを取

り巻く問題の重要性については十分認識をして対応している。今後も、さらなる努力と対策を続けていく。予算に関しては、財政当局と相談しながら対応したい。

平成23年度熊本県における暴力行為発生件数(国公立小・中・高等学校)					
器物 損壊	対教師 暴力	生徒間 暴力	対人 暴力	合計	1000人当りの 発生件数
28	173	21	39	261	1.3
全国平均					4.0
平成23年度熊本県における不登校児童生徒数					
小学校			中学校		
不登校 児童数	1000人当りの 不登校児童数	不登校 生徒数	1000人当りの 不登校生徒数	合計	1000人当りの 認知件数
197	1.9	1297	24.2	1494	26.4
全国平均 3.3			全国平均 26.4		
平成23年度熊本県におけるいじめ認知件数					
小学校	中学校	高等学校	特別 支援学校	合計	1000人当りの 認知件数
4887	1489	425	31	6832	32.9
全国平均					5.0

※平成23年度「児童生徒の関与行動態勢の把握調査」上の調査期間に関する留意事項：2022年10月1日～2023年9月30日

平成23年度「児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査」より

熊本県の場合、実体が掴みにくいとされているいじめ認知件数は突出しているが、比較の実態把握が容易な不登校、暴力行為件数は全国平均を下回っている。

熊本バス営業所廃止問題

福永議員 御船町における公共交通機関の拠点と言える御船営業所が廃止され、4ヶ月以上も道路の路側帯にバス停のサインが立っているだけという危険な状態が続いている。なぜこのような状態を放置していたのか。

吉本企画財政課長

バス待合所に関しては、他の運行バス会社とも対策を協議していたが、熊本バス運行ルート変更計画もあり進んでいなかった。遅くなったが、数日前より臨時のバス待合所を確保できた。

福永議員 事前に予測出来ていたにもかかわらず、町は旧営業所の地権者と交渉すらしていない。臨時バス待合所が出来たのは一歩前進だが、あまりにも対応が遅い。また、熊本バスのルート変更については、地域住民に全く知らされていない。公共交通網という地域住民の生活に直結するものでありながら、町民に対する事前の調査、説明がないことに対して強い反省を求めたい。

吉本課長 ルート変更については熊本バスと協議を続けていた。「御船四つ角」と「御船」バス停を廃止し、町役場方面を迂回する新ルートが正式に申請された。運行は今年12月半ば予定。

福永議員 営業所廃止によって公共交通機関の拠点がなくなった。小規模でも構わないが、町の玄関口となるバスターミナル的なものを整備する計画はあるか。

山本町長 整備する計画はない。



営業所廃止に伴い、熊本バスのルート変更が計画されている



Q どうする町中心部の水害対策

A 加勢川の改修が一番

沖 徹信 議員

沖議員 国道445号線などの整備にともない開発が進んでいる、梅雨の時期の大雨に水路の状態が悪く国道のボックスも小さい、矢形川に排水をしているが水位が上がれば逆流し水田地帯の冠水はいつそうひどくなっている。落合橋下流の樋門の水路が川に直角であるため流が悪い、堤防を改良する排水対策の考えはないか。

山本町長 市街化の進展や集中豪雨の増加に伴い、雨水排除能力を超える雨水流出が想定される。矢形川は天井川であり、大雨の時は天君ダムで流す水を調整する。落合の樋門を閉めれば水がたまり冠水状態になり、過去数年農作物に被害を与えることになった。県の協力を得、高速道路のガード下まで土砂の浚渫をし、農家のかたでの草木の除去、土地改良区に半分補助で水路の土砂除去してもらいかなり変わったと思う。

藤岡経済振興課長 樋門の方向を下



住宅の下に水道管が通る高木サン団地

流にむけてはとの意見だが、樋門が直角についているのは構造上だと思う。下流に向けた場合樋門の延長が長くなり管理面で難しいと考える。

沖議員 ポンプを据えて強制排水の考えは。

山本町長 御船川については、滝川

橋下の樋門で国交省にお願いし揚げている。矢形川についても落合の樋門まで舗装しポンプを設置できないか国交省、県に話をしている。一番は加勢川改修だ。併せて矢形川の改修を同時にやってもらいたいのが私の考え。

個人住宅の下に水道管

沖議員 高木サン団地の水道本管布設替えの考えは。

山本みず環境課長 団地の個人住宅の下に水道管が通ってる、災害がおきたらその保障はどうするかだが、水道賠償責任保険を適用することになると思う。

山本町長 高木については水不足は以前から言われている。タンクを作る必要があり、平成24年に造成、平成25年に配水池を築造することで、水を供給できる状況が造られる。その後団地も含め、高木地区の老朽化した管の布設替えを、平成26年から3カ年で整備する考えだ。



矢形川は大雨が降り水門を開けると逆流する

環境対策にも配慮

吉無田 藤木牧場を視察

産業建設常任委員会 増田 安至

平成24年9月13日に産業建設常任委員会では、関係部署課長とともに、現地の視察に行きました。

【藤木牧場の視察】



吉無田のきれいな空気を吸って健やかに育っている牛

御船町吉無田の藤木牧場を視察した。飼養頭数は、肥育牛336頭・繁殖牛120頭で、施設規模（肥育牛舎2棟・繁殖牛舎1棟・育成牛舎1棟・飼料庫1棟）も充実した、広大な施設でした。畜ふん発酵乾燥施設も1棟あり、全体面積が40haの広さが印象的でした。

畜産物の加工・ふれあい動物広場の提供など、地域との連携を深めながら、畜産振興・地域活性化に取り組んでいました。また、環境対策にも配慮されていて、牛舎床に敷いたオガクズ及び、もみ殻に吸着させ、たい肥化処理を行っていた。排水は近隣住宅や住民に十分配慮した対策がなされていました。

【なす圃場(ほじょう)視察】

懇切丁寧になすを栽培されている光景に驚きました。収穫も大変でしょうが、日頃からの手入れはさすがと感心しました。

【町道吉無田線の視察】

この道路は、平成11年に県道益城矢部線から西原村へ通じる道路として全面改修されました。

阿蘇くまもと空港や熊本市東部への幹線道路として沿線住民に大きな役割を果たしていますが、近年、交通量の増加により路面の破損が著し

く、通行に支障を来しているそうです。

町では、車が安全に走行できるように10年間計画で舗装の補修工事（総距離7km・改修費用2億4,498円）に取り組むそうです。防衛省が60%・町40%の負担での工事となります。今年度中に測量業務（275万円）が始まり、もみじ橋近くを補修（500万円予定）する事になっています。

【光ケーブル破損状況】

平成24年9月13日の議会で提出された損害賠償請求（平成23年6月28日トラックによるケーブル切断事故発生）の事案について、事故現場（吉無田線の御船町田代8173-3）を視察しました。

【化石広場視察】

御船町田代の「みふね化石ひろば」の採掘場を視察しました。視察した際に、「道路の状況があまり良くない・詳細な地図が必要だ」などの意見ができました。



手入れの行き届いた畑で栽培されているなす（ヒゴムラサキ）

他町に学ぶ

どう活かす まちづくり

全議員研修

9月25日（火）～27日（木）に議員研修を行った。

1日目は群馬^{おうらまち}県邑楽町の地産地消の取り組み、2日目は群馬^{かんなまち}県神流町で恐竜センターの集客方法やグッズなどの販売について研修した。最終日は埼玉県嵐山町^{らんざんまち}の都市再生整備計画について研修した。今回の研修で得たものをまちづくりに反映できるよう提言していきたい。

人気の直売所

群馬^{おうらまち}県邑楽町あいあいセンター

産業建設常任委員長 吉村 公一

この施設は「みそ加工室」「手打ちそば、うどん食堂」「野菜等産物直売所、商工商品展示コーナー」などの機能を持った施設である。地域における食料の自給と特産品づくりを図りながら、自給自足の出来る農業生産の確立と地域の活性化に取り組んでいる。組合長の橋本恵美子さんに話を聞いた。

組合員は33名（麺類部9名、加工

部11名、直販部13名）である。

営業日は土・日曜日で直販部は水曜日もある。

あいあいセンター出荷者協議会を設立し、140名の会員が野菜などを納めている。また学校給食も月に5～6回納めている。

橋本組合長の話に女性のパワーを感じた。また、群馬県はニガウリ栽培で全国5位と伺った。その内、邑

楽町は県内シェアの9割を栽培しているという。

どこの食事処や直販所でも「おすすめゴーヤ料理」や「おすすめゴーヤ商品」があるという。

御船の水前寺菜（商品名：みふね川）も、そうなればと願う次第である。

つい先日、隣の甲佐町では町の特産品（ニラ）の新作料理の試食会が行われた。御船町にも何か自慢できる特産品作りが急がれる。町民の皆さんの意見も聞いて、一緒に考えていきたいと思う。



センター到着後、早々にそばやうどんで歓迎を受けた



あいあいセンター名物の炭酸まんじゅうは年間約11,500パックを売り上げる

日本初 恐竜 足跡の化石

恐竜王国中里

民生文教常任委員長 佐藤 俊明

昭和60年に約1億2000万年前の波のあとが残る「漣岩」に残された窪みが日本発となる「恐竜の足跡の化石」であることが発表された。これを契機に、当時としては独創的な村おこしである「恐竜王国」が建国された。昭和62年にその中心施設として恐竜博物館が開館された。

当初恐竜王国のみ建設され、一年遅れて食堂と売店「緑地等管理中央センター」が建設された。その後、モンゴルとの交流が実り、平成8年度、9年度に「モンゴル恐竜化石特別展」が企画され、その会場が活性

化センターとなっている。

14年にライブシアターの設置、21年度にティラノザウルス産状骨格の設置となる別館のリニューアルなど部分的な改修が行われた。22年には「化石発掘体験」に次ぐ人気メニューである「レプリカ作成体験」を定期的に開かれ参加者が増加をしている。

もともと中里町恐竜センターで発足したが町村合併で神流町（かななまち）恐竜センターとなっている。神流町の観光施設も兼ねており食堂では、地産のそば粉を使用したそばの販売や売店（オリジナルグッズ、



とても大きな恐竜の骨格模型（手作りぬいぐるみ）など、恐竜グッズなど開発販売し、地域の活性化に繋がるような取り組みを行っている。

御船町恐竜博物館の建設に関して今回の研修を生かされるように働きかけていく。



長野県神流町で「恐竜王国中里」の説明を聞く議員一同

活力と魅力あふれる町づくり

らんざんまち 嵐山町都市再生整備計画

総務常任委員会副委員長 田中 隆敏

嵐山町は、東京都心より約60キロの位置にあり、面積30km²に人口18,000人の町であり、なだらかな地形や豊富な水資源を生かした、田畑耕作に転換する土地改良事業が行われている。

都市再生整備計画事業（旧まちづくり交付金事業）は、嵐山中央地区都市再生整備計画（216ha）を、平成19年度から平成23年度までを事業計画とし、目標「人々が安心・安全に暮らし、活気あふれる魅力的なまちの創造」をかかげている。

この目標は、嵐山町の課題である郊外型店舗の立地により商店の撤退

など街の空洞化が進み、土地区画整備事業を進めることにより、狭小宅地の解消と防火や防犯に配慮した良好な居住空間と利便性の向上のため、道路や歩道、公共施設の整備と宅地造成を計画とした。

地域住民との協議により、老朽化した中央公民館を解体し跡地を防災広場とし、消防団倉庫や防災倉庫として整備をした。ふれあい交流センターを整備し、旧施設の利用者数より利用目標数を増加する計画とした。2か所ある給食共同調理場は老朽化し、防災計画において炊き出しの場

所と指定され早急な建て替えが必要とした。この事業は地域要望として出されたもので策定し、ワークショップなどは開催していない。PDCAサイクルによる事業に事後評価委員会が目標達成度、妥当性、満足度等を審議し、効果を持続させるため町民主体のまちづくり活動とし、ボランティア活動支援やアンケート調査により、改善すべき点などフォローアップ体制のとれた交付金事業である。御船町においても町民と一体となったまちづくりを進められることが望まれる。



お祭りが地域を元気にする

11月23日は木倉ふるさと祭りです。今年は20周年記念として足水の獅子舞、四宮神社の神楽が披露されます。このお祭りの裏方で活躍しているのが女性で構成されている文化部。私たち文化部は木倉名物の「イモ万頭」「豚汁」を提供します。毎年の事なので話す暇もないほど手足が自然と動いています。豚汁は大なべで200食ほど作り会場内からの注文には文化部が出前も行います。人手不足ですが男性軍の手伝いもあって経験でカバーしています。

文化部では木倉公民館発足以来、学習会や69号となる手書きの新聞作り、年二回の花植えなどを行っています。この活動は先輩から受け継いだものです。この伝統をこれからも次世代へ繋げていきたいと思っています。



木倉
藤本 好子さん



祭りはかくし芸やカラオケ、日舞など表舞台も華やかですが裏方の協力があって成り立ちます。23日は夜遅くまで賑わいます。まさに木倉の元気はこのお祭りから始まっています。お祭りを一つの材料として御船町をもっと盛り上げていきたいです。一度、木倉ふるさと祭りに来てみませんか。最後はいつの間にか会場が超満員となる大抽選会で締めくくります。

子どもたちの自立支援事業受託

(文部科学省・熊本県教育委員会委託事業)

学校教育における重要な課題であるいじめや不登校、問題行動等の未然防止及びその解消を図り児童生徒の自立を支援する事業を御船町(中学校、小学校)が受託しました。

御船中学校を中心にして「問題行動の未然防止とその解消を図るための実践研究」が行われます。児童生徒の健全育成に向け小中学校間の連携や地域のネットワークを活用して

実践的な取組が行われます。

皆様も「地域の子は地域で育てる」を合言葉に御船町の宝である子どもたちを見守りましょう。



事業説明をする御船中学校加藤校長(10月15日)

議会の予定 11月

- 1日 上益城広域連合議会研修(～2日)
- 4日 消防非常呼集訓練
- 6日 熊本県町村議会議員研修
- 9日 上益城郡町議会議員研修
- 12日 議会
- 13日 総務常任委員会研修(～14日)
- 14日 全国議長研修及び上益城郡議長研修(～16日)
- 19日 議会改革推進特別委員会研修(～20日)
- 28日 熊本県町村議会議長会広報研修
- 29日 都市計画審議会研修(～30日)

編集後記

暑い夏も過ぎ、秋風が吹きすさびやすい季節となりました。

朝夕の寒暖の差からか先日、休日の救急病院で診療を受けることになりました。待合室はいつもの状況で受診をされる人の多さに驚きました。

患者のほとんどが乳幼児。不安な様子で受診を待つ親子。中山間地においては病院へ行くのにも車で一時間以上かかることもあります。休日や夜間の医療の体制のあり方を考えさせられました。

山中伸弥氏のノーベル生理学・医学賞の受賞が発表されました。高度医療の発展を期待するとともに、少子高齢化が進むなか安心して暮らせる医療体制ができることを望みます。

田中隆敏

議会広報編集幹事委員会

発行責任者 岩田 重成
委員長 田上 忍
副委員長 山田 五郎
委員 佐藤 俊明
委員 田中 隆敏
委員 永山 和人
委員 増田 安至